



一般財団法人
中東協力センター

サウジアラビア投資省、東京で金融ラウンドテーブルを開催

～ 金融分野における両国間の協力関係について ～

2024年5月28日

一般財団法人 中東協力センター

サウジアラビア投資省（MISA）は5月22日、ハーリド・アル＝ファーレフ投資大臣出席の下、都内で「サウジアラビア金融ラウンドテーブル」を開催しました。

この会議には、日本の政府系金融機関、大手都市銀行、アセットマネジメント会社など12の金融機関の経営陣・幹部が参加しました。

サウジアラビア側からは、ファーレフ投資大臣をはじめとする政府からの出席者に加え、政府系および民間の金融関係機関計7組織の代表者が参加しました。また、中東協力センターはMISAの依頼を受けて、日本の金融機関の招聘を支援し、専務理事の表が参加しました。

会議では、サウジアラビア側から同国の経済および金融市場の現状について説明が行われました。これに対し、日本の金融機関からは、円による取引の拡大やそのための政府支援の必要性、フィンテックへの取り組みなどについて意見が出され、活発な議論が行われました。特に、サウジアラビア側からは融資分野を含むさまざまな分野での積極的な協力が要請されました。

中東協力センターとしては、本ラウンドテーブルは、サウジアラビアと日本の金融機関との協力関係を強化し、両国間の経済交流をさらに深化させたものであり、今後もこのような取り組みを通じ、サウジアラビアとの関係強化に貢献していきたいと考えております。

###